

臨時農業生産情報

(冬期間の暴風雪及び大雪に対する技術対策)

令和 7 年 1 1 月 1 7 日
青森県「農林水産力」強化本部

県内では、これから本格的な降雪期を迎えますので、日頃から暴風雪や大雪に関する気象情報に注意し、次の対策の実施により、被害の未然防止と軽減に努めてください。

【事前対策】

1 りんご等果樹

- (1) 苗木や幼木では、主幹や枝をひもなどで支柱にきつく結束する。
- (2) わい性台樹では、枝の中央部からやや先を枝先が上向きになる程度まで吊り上げる。不要な下枝などは剪去する。
- (3) 普通台樹の成木では、雪害を受けそうな枝に支柱を入れるとともに、不要な枝を大枝単位で剪去する。また、樹上に雪が積もりにくくなるように、徒長枝は剪去し、切り口に塗布剤を塗る。裂開の生じている樹は、カスガイやボルトで補強する。
- (4) 融雪促進剤は事前に園地に運搬しておく。積雪の多い年は、沈降力を軽減させるため、1月から数回にわたり、晴天の日を選んで散布する。効果を高めるため、枝の掘り上げや溝切りを合わせて行う。

2 野菜・花き等のハウス

- (1) ハウスの倒壊や資材の破損を防ぐため、ハウス資材の破れや隙間の点検、補修を行うとともに、マイカ線や支柱などで補強する。
- (2) 冬期間利用しない場合は、倒壊を防ぐためビニールをはいでおく。

3 畜産

- (1) ロールベールサイレージはストレッチフィルムの破損を防ぐため、シート等で覆う。
- (2) 畜舎等は、破損を防ぐため、支柱等で補強するとともに、シャッターや窓などを完全に閉める。

【事後対策】

1 共通事項

施設の確認・除雪作業は、作業者の安全確保を最優先することとし、降雪が収まり、施設等の安全を確保してから行う。

2 りんご等果樹

- (1) 大雪の際は、まだ雪が新しく軽いうちに、樹上の雪下ろしや雪に埋もれた枝先を抜き上げる。
- (2) 枝が折れ、ゆ合の見込みがない（主枝が欠落又は木質部と樹皮が3分の2以上裂開）場合は剪去し、切り口に塗布剤を塗る。
- (3) ゆ合が可能な場合は、普通台樹では傷口を密着させて、カスガイやボルト等で補強し支柱で支える。わい性台樹ではビニールなどできつく縛って密着させ、ひもなどで吊り上げる。

3 野菜・花き等のハウス

- (1) ハウスに積もった雪は早めに下ろす。また、ハウス内を暖房して融雪を促し、落雪を容易にする。
- (2) 被覆していないハウスでは、屋根面のパイプに付着した雪を撤去する。
- (3) ハウス周辺の除排雪を速やかに行う。
- (4) ハウスが倒壊または破損した場合は、速やかにパイプの修復・補強やビニール等の張り替えを行い、保温に努める。農業共済に加入しているハウスについては、損害評価を受けるなど農業共済組合と連携を密にして早期の復旧に努める。

4 畜産

- (1) 積雪による畜舎等の倒壊を防ぐため、屋根の雪下ろしを行う。
- (2) フィルム製の屋根材を使用している堆肥舎等については、施設側面の除排雪を行う。

報道機関用提供資料					
担当課 担当者	(りんご等果樹)	りんご果樹課生産振興グループ GM 工藤 秀樹			
	(野菜・花き)【発行元】	農産園芸課野菜・花き振興グループ GM 木村 一哉			
	(畜産)	畜産課経営支援グループ GM 三村 葉子			
電話番号	(りんご等果樹)	直通	0 1 7 - 7 3 4 - 9 4 9 2	内線	5 1 4 6
	(野菜・花き)	直通	0 1 7 - 7 3 4 - 9 4 8 1	内線	5 0 7 6
	(畜産)	直通	0 1 7 - 7 3 4 - 9 4 9 6	内線	4 8 1 4
報道監	農林水産部 次長 及川 正顕 (内線：4 9 6 6) 次長 栗林 豊 (内線：4 9 6 7)				

青森県では、臨時農業生産情報を電子メール配信するサービスを実施しています。青森県農業情報のホームページ「農ナビ青森」からお申し込み下さい。

農ナビ青森のHPアドレス

(<https://www.nounavi-aomori.jp/>)

「トップページ」→「農業情報ページ」→「農業情報」
に掲載



農ナビ青森 QRコード